

第 6 回 HALS 研究会グループミーティング プログラム

14:30 ~ 14:35 開会の辞 第 6 回当番世話人：山名哲郎（東京山手メディカルセンター大腸肛門病センター）

一般演題 I 14:35 ~ 15:24

各発表時間 5 分 + 質疑応答 2 分

司会：石坂和博（帝京大学医学部附属溝口病院泌尿器科）

1. 『クローン病に対する HALS の有用性』 西尾梨沙（東京山手メディカルセンター大腸肛門病センター）
2. 『大腸手術に HALS を導入して間もない施設の現況』 武藤 淳（福島労災病院外科）
3. 『用手補助下手術が有効であった胃巨大 GIST の 2 例』 富塚龍也（武蔵野総合病院外科）
4. 『HALS を用いた胃管作製術』 萩原 謙（日本大学病院消化器外科）
5. 『腹腔鏡下直腸切除術後の吻合部狭窄に対して腹腔鏡補助下で再手術を行った一例』 古川聡美（東京山手メディカルセンター大腸肛門病センター）
6. 『長径 15cm/550g の巨大上行結腸癌と S 状結腸癌の同時性 2 領域切除に対する HALS の有用性』 田中洋一（東海大学医学部附属東京病院外科）
7. 『食道癌手術における HALS 下腹腔内操作手技』 三宅邦智（東京女子医科大学第二外科）

15:24 ~ 15:35 休憩

一般演題 II 15:35 ~ 16:24

各発表時間 5 分 + 質疑応答 2 分

司会：松田 年（神楽坂 D.S. マイクリニック内視鏡手術センター）

8. 『潰瘍性大腸炎 colitic cancer への HALS 大腸全摘術～手術操作の部位別特徴～』 西川晋右（青森県立中央病院がん診療センター消化器外科）
9. 『HALS vs. 定型的開腹に関する臨床成績 / 最終結果報告』 田島隆行（東海大学医学部附属大磯病院外科）
10. 『大腸疾患に対する HALS (Hand Assisted Laparoscopic Surgery) の有用性』 吉田 誠（JA 尾道総合病院外科・内視鏡外科）
11. 『腹腔鏡補助下幽門側胃切除における LADG と HALDG の位置付け』 木村昭利（青森県立中央病院がん診療センター外科）
12. 『HALS だからこんなこともできちゃいました～直腸反転法を用いた直腸超低位前方切除～』 閑 啓太郎（愛生会山科病院外科）
13. 『ロボット支援前立腺全摘術における HALS 導入の可能性について』 石坂和博（帝京大学医学部附属溝口病院泌尿器科）
14. 『肝臓外科における HALS の役割とその有用性』 曾山明彦（長崎大学大学院移植・消化器外科）

16:24 ~ 16:35 休憩

UC セッション 16:35 ~ 17:25

各発表時間 5 分 + ディスカッション 25 分

司会：板橋道朗（東京女子医科大学第二外科）

大腸全摘術を HALS で施行されている先生方にご発表いただきながら、
HALS のメリットについて意見交換します。

UC-1. 『当院における潰瘍性大腸炎に対する HALS の手技と治療成績』

山本隆行（四日市羽津医療センター IBD センター）

UC-2. 『教室における UC の術式選択』

廣澤知一郎（東京女子医科大学第二外科）

UC-3. 『HALS を併用した潰瘍性大腸炎に対する 1 期的大腸全摘、回腸囊肛門管吻合術』

木村英明（横浜市立大学附属市民総合医療センター 炎症性腸疾患センター）

UC-4. 『潰瘍性大腸炎に対する HALS 大腸全摘術症例、自験例の検討』

森本幸治（東京山手メディカルセンター大腸肛門病センター）

UC-5. 『潰瘍性大腸炎手術における HALS 導入の効果』

渡谷祐介（広島大学大学院 医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門外科学）

17:25 ~ 17:35 休憩

特別講演 17:35 ~ 18:35

発表 40 分 + 質疑応答 20 分

司会：山名哲郎（東京山手メディカルセンター大腸肛門病センター）

韓国の大腸外科分野で HALS の豊富な経験をお持ちのキム・ヒュンデイ先生に、
韓国の HALS 事情と先生の臨床データについてお話をさせていただきます。

『Hand Assisted Laparoscopic Surgery: Live or Let Die?』

Hungdai Kim (Kangbuk Samsung Hospital)

18:35 ~ 18:40 閉会の辞 第 7 回当番世話人：向井正哉（東海大学医学部付属八王子病院外科）

18:40 ~ 19:10 懇親会会場へ移動

19:10 ~ 21:00 懇親会 開会挨拶：山名哲郎（東京山手メディカルセンター大腸肛門病センター）